

第 84 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 23 年 10 月 23 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7 名  
出席委員の氏名 児玉 昭義 大橋 民男 中島 和晃  
小島 隆雄  
欠席委員の氏名 木村 敏彦 堂園 孝美  
放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸
4. 議題
  1. 番組編成に関して
  2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容  
議 長：須藤 一郎、出欠席者の確認。  
委 員 長 児玉 昭義、本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。  
会社側委員：前回の審議会で報告の通り 10 月 1 日から新しい番組編成による放送に変更されております。時間枠の大幅な変更はありませんが放送番組はほぼ 100% が自主制作になりました。  
委 員：平日の主要な番組を土曜／日曜に再放送される編成や自主制作番組の大幅な拡大を高く評価します。番組の内容も洗練されてきていると思います。  
会社側委員：再放送枠をも含めてより充実した番組編成として評価いただけるよう鋭意努力いたします。放送機材の拡充を含めて非常時における放送の体制も整備中です。地域の情報発信基地としての機能を充実していく所存です。  
委 員：震災の懸念される折非常時への対応も急務であると思います。  
会社側委員：前回にも報告いたしております通り耐震や耐火の対策を含めてスタジオの整備を検討中です。停電への対応や非常事態におけるマンパワーの体制などの見直しも検討しております。  
委 員：前日も申し上げましたが懸念される災害への対策は早急に解決すべきです。  
会社側委員：改正された放送法にもとづくコンプライアンス遵守としてもスタジオの移転を契機にハードソフト共に可能な整備を実行していきます。  
委 員：イザという時に機能する体制を構築して下さい。  
会社側委員：鋭意努力します。  
委 員 長：本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日 ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し  
以 上